※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２００４ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　新地理総合　（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新編フォトグラフィア地理図説　（東京法令出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理総合では、私たちが暮らす日本社会の「いま」について学びます。高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などによって、大きく変わろうとしています。これらの変化とうまく付き合っていくためには、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要になります。その際、多様な自然と人間の相互関係やそこから生まれた文化に注目しながら学んでいきましょう。地理的な見方・考え方や、地図や GIS の活用をはじめとする地理的技能を身に付け、私たちの身の回りのさまざまな社会問題や地理的事象を自らの手で考察するとともに、持続可能な社会づくりに向け、主体的に行動できるようになってください。

## ２　学習の到達目標

（１）「位置」「地形」「気候」の基礎的な知識を基に、自然環境に最適な形で、人間の生活（衣食住）が発達することを理解する。

（２）自然地理について学習した知識を活用して、世界の国々の特色ある文化、産業について探究する力を養う。また、日本の地理的特徴を理解し、それがもたらす恩恵や災害など「自然環境と防災」について探究する力を養う。

（３）地理を深く、かつ広く学び、平和で民主的な国家・社会を切り拓く総合力を培い、２１世紀の持続可能な社会づくりに向け、主体的に関わり行動を起こせる力を身に付ける。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日常生活や社会との関連を図りながら、現代世界を取り巻く環境について基本的な概念を理解しているとともに、地図の読図、さまざまなグラフを理解する基本的な技能を身に付けている。 | 現代世界を取り巻く環境から問題を見いだし、地図や統計から得られた情報を分析して解釈して、表現するなど、科学的に探究している。 | 現代世界を取り巻く問題に主体的に関わり、見通しをもち、振り返り、原因を科学的に探究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 地図でとらえる現代世界・国際理解と国際協力① | A 地図と地理情報システム<br>①　地球上の位置と時差<br>②　地図の役割と種類<br>B 結び付きを深める現代世界<br>①　現代世界の国家と領域<br>②　グローバル化する世界 | a:緯度経度の基本的なしくみ、時差が生活に与える影響、地図や地理情報システムの役割や種類など基本的な技能を身に付けている。<br>b:国家の領域、国境はどのように定まっているか。日本の位置や領域の特徴について、考察し、表現している。<br>c: 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 小テスト<br>定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | レポート<br>提出ノート |
| | | C 生活文化の多様性と国際理解<br>①　世界の地形と人々の生活<br>②　世界の気候と人々の生活<br>③　乾燥した大陸と太平洋の島々での生活(オセアニア)<br>④　モンスーンの影響を受ける地域での生活(東南アジア)<br>⑤　世界の言語・宗教と人々の生活 | a: 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境から影響を受け、多様性をもち、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>b:、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート | レポート<br>提出ノート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 国際理解と国際協力② | C 生活文化の多様性と国際理解<br>① イスラームと人々の生活の関わり（中央アジア・西アジア・北アフリカ）<br>② ヒンドゥー教と人々の生活の関わり（インド）<br>③ 歴史的背景と人々の生活<br>④ 移民の歴史と人々の生活の関わり（ラテンアメリカ）<br>⑤ 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり（サハラ以南アフリカ）<br>⑥ 国家体制の変化と人々の生活の関わり（ロシア）<br>⑦ 世界の産業と人々の生活<br>⑧ 産業力が世界の生活文化に与える影響（アメリカ合衆国）<br>⑨ 経済成長による人々の生活の変化（東アジア）<br>⑩ 地域統合が人々の生活や産業に与える影響（ヨーロッパ） | a： 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>b：主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c： 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 小テスト<br>定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート | レポート<br>提出ノート |
| | 国際理解と国際協力③／持続可能な地域づくりと私たち① | D 地球的課題と国際協力<br>① 複雑に絡み合う地球的課題<br>② 地球環境問題<br>③ 資源・エネルギー問題<br>④ 人口問題<br>⑤ 食料問題<br>⑥ 都市・居住問題<br>E自然環境と防災<br>① 日本の自然環境 | a： 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解している。<br>b：主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>C：よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 小テスト<br>定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>発表<br>レポート | 発表<br>レポート<br>提出ノート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 持続可能な地域づくりと私たち② | E自然環境と防災<br>① 地震・津波と防災<br>② 火山災害と防災<br>③ 気象災害と防災<br>④ 自然災害への備え<br>F 生活圏の調査と地域の展望<br>① 生活圏の調査と地域の展望 | a: 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解しようとしている。<br>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けようとしている。<br>b：地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。<br>c: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 小テスト<br>定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート<br>発表<br>レポート | 発表<br>レポート<br>提出ノート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度